

2020年6月11日

京都府知事 西脇隆俊 殿

米軍経ヶ岬通信所（Xバンドレーダー基地）発電機稼働に関する申し入れ

日本共産党京都府議会議員団

団長 原田 完

経ヶ岬の米軍レーダー基地のディーゼル発電機が、6月2日から昼夜連続で稼働していることが、京丹後市による市議会への報告で明らかになった。本日午後の段階でも稼働していることが確認されている。

発電機の稼働については、住民との約束を破り、昨年6月にも24時間連続運転が続き、深夜の騒音などで、住民からの中止を求める声があいつぎ、日本共産党府会議員団は即時運転を停止するよう求めてきたところである。また、今回の連続運転については、京丹後市も米軍に「発電機の緊急停止」を申し入れている。

2019年6月17日の京都府議会定例会議で、西脇知事は「6月の安心・安全連絡会で米軍司令官から、今後は週末・夜間の稼働は控えるよう、担当者に周知した旨の回答があった。府民の安心・安全を守る立場から、問題が生じるような場合には、防衛省に速やかに厳しく対応を求める」と答弁した。しかし、またしても住民へのまともな説明もないまま、発電機の24時間運転が強行されている。

住民との約束が踏みにじられ、知事の答弁とは全く相いれない事態が発生しており、党府議団は厳しく抗議するとともに、京都府が、米軍及び防衛省に対して以下の点を直接申し入れるよう、強く求める。

- 1 発電機の稼働を直ちに停止すること。
- 2 住民に、一連の経過について説明を行うとともに、謝罪をすること
- 3 原因の徹底究明と、再発を防止すること。

以上